

# 航空宇宙審査員登録要求事項

ADS 発行許可日: 2011 年 3 月

IRCA 承認日: 2011 年 3 月

目次

1. IRCA 及び航空宇宙審査員登録プログラムの概要
2. 登録レベル及び登録要求事項  
パート I : 一般航空宇宙審査員としての登録  
パート II : ASCS 認定航空宇宙審査員／航空宇宙経験審査員としての認定
3. 申請方法  
他機関に関する免責事項
4. 料金
5. 登録更新要求事項
6. BS ( EN ) ISO 9001:2008 へのアップグレード
7. 昇格方法
8. その他の情報

---

附属書 I 継続的専門知識の啓発 (CPD) に関する指針

附属書 II 用語の定義

附属書 III 行動規範

**Copyright IRCA – 2011**

All rights reserved. 本出版物のいかなる部分も、CQI 国際審査員登録機構 (IRCA) の事前の許可をなくして、複製、検索システムへの保存、電子、機械、コピー、録音などの別の形式や手段にて伝えてはならない。

本文書に記載されている情報は発行時において適用される内容とします。詳細や最新情報については、IRCA ウェブサイト [www.irca.org](http://www.irca.org) をご覧ください。

## 1. IRCA 及び航空宇宙審査員登録プログラムの概要

### ■ IRCA 及び審査員登録

#### 沿革：

インターナショナル・レジスター・オブ・サーティフィケートッド・オーディターズ（以下 IRCA）

（The International Register of Certificated Auditors：国際審査員登録機構）は、1984年に審査員登録を開始しました。IRCAは英国政府によるイニシアチブの一環として、ビジネス及び産業に競争力を与えるために設立されました。このイニシアチブのねらいは、供給者監査を頻度の少ない第三者審査に置き換えることにより、供給者監査のコストを削減し、効率を向上することでした。そして供給者の第三者審査は、その供給者の顧客に受け入れられ、認知されるようになりました。

IRCA以外にこの新しい体制に与する他の団体には、認定機関（現 UKAS）、国家規格作成機関（BSI Standards）、並びに、数々の認証機関がありました。使用された品質マネジメント規格は、英国規格；BS 5750でした。BS 5750はISO 9001の前身となったものです。

この品質インフラストラクチャは非常に効果的であることが判明し、現在は、供給者組織の品質保証に関し、最も有効で、かつ、最も広く使用されるメソッドであると世界規模で認識されています。今日では同一の体制がその他の状況（例：組織のマネジメントシステムの、労働安全衛生、食品安全、環境に関する要求事項への適合性の保証）でも使用されています。しかし、どのような状況であれ、この体制は審査員及びコンサルタントの力量に多くを頼っているため、IRCAの果たす役割はその成功にとって不可欠なのです。

創立以来、IRCAはインテグリティ及び付加価値を生むという点で名声を獲得してきました。IRCAが開発、使用してきた評価・登録のメソッドは、その他の多くの審査員登録機関にも採用されてきました。現在多くの国で、その国独自の、国家による審査員登録プログラムを通じてIRCAに代わるものを提供していますが、IRCA登録は未だ変わらず国際的な人気を博しています。1984年以来約35,000人の審査員が登録を授与され、IRCA登録名簿には現在150カ国以上の国々の審査員が掲載されています。IRCAは国際的に認知されている唯一の審査員登録機関であり、供給者組織、認証機関、そして審査員が最も重んじる登録を維持しています。

#### IRCAのトレーニング：

審査員トレーニングコースのIRCA認定は、国際的に認知され、その価値を重んじられています。審査員登録を支援するべく開発されたものでしたが、IRCAは、独立した別の活動として、トレーニングの認定制度を発展させてきました。コースは元来登録を希望する審査員向けに設計されたものではありませんが、品質、環境、労働安全衛生マネジメントに関する情報を追究する様々な目的をもった受講者に、大変好評をいただいております。現在、コース受講者のうちほんの一握りの方しか審査員として活動していません。世界中のトレーニング機関は、トレーニング機関が提供するトレーニングコースがIRCA認定のものであることを不可欠であると考えています。IRCAの提供するコースは、幅広い申請を網羅すべくその数を増大させてきました。また、トレーニング機関が広範囲な種類のコースの認定を要請するにつれて、更に拡大し続けています。世界で年間約55,000人の受講者が、IRCA認定トレーニングコースを受講しています。IRCAは、例えばAS/EN9100といった、航空宇宙に特化した規格には責任を負わず、そのためのトレーニングも提供していないことにご注意ください。トレーニングの責任はEAQGが負います。

#### CQIとのつながり：

IRCAは、Chartered Quality Institute（公認品質協会）の要員認証機関です。CQIはそれ自身が、品質に関する国際的権威として認知されています。IRCAとCQIは、各々の役割をもち、インテグリティ、絶対的公平性、並びにビジネスプロセスに付加価値を与えることに多くを貢献しています。

### ■ 航空宇宙審査員登録プログラム

本プログラムは、AS/EN/JISQ 9100、9110及び9120、ISO 9001及びその他の規格を用いた航空業界認証スキーム（ASCS）航空宇宙審査員または航空宇宙経験審査員としての登録への裏付け証拠とならない

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

審査、及び航空宇宙業界認証スキーム（ASCS）「他の全ての航空宇宙審査」（パート I、一般航空宇宙審査員としての登録を参照）の一部ではない審査について認めています。

### 航空宇宙審査員および航空宇宙経験審査員の認定

ASCS に基づき、QMS 9001 あるいは AS/EN/JISQ 9100、9110、9120 規格を使用して実施された審査（パート II；「ASCS 航空宇宙審査員または航空宇宙経験審査員としての認定」参照）

どちらの審査にも異なる力量が求められます。この審査の違いは本書の中で取り上げます。また、この審査の違いは異なる種類、つまり登録または認定に反映されます。

航空宇宙審査員登録プログラムは以下の主要な規格に基づいています：

- ISO 9001 : 2000/2008、品質マネジメントシステム—要求事項
- ISO 19011 : 2002、品質及び/又は環境マネジメントシステム審査のためのガイドライン

航空宇宙審査員及び航空宇宙経験審査員としての認定は以下の主要な規格に基づいています：

- ISO 9001 : 2000/2008、品質マネジメントシステム—要求事項
- ISO 19011 : 2002、品質及び/又は環境マネジメントシステム審査のためのガイドライン
- AS/EN/JISQ 91043/EN9104003、Requirements for Aerospace Quality Management Systems Auditor Training and Qualification
- AS9104/1 EN91041、Requirements for Aviation, Space and Defence Quality Management System Certification Programs
- AS/EN/JISQ 9100、航空宇宙品質マネジメントシステムの審査登録制度に関する要求事項 AS/EN/JISQ 9110、Quality Maintenance Systems - Aerospace - Requirements for Maintenance Organizations
- AS/EN/JISQ 9120、Quality Maintenance Systems Aerospace Requirements for Stockists / Distributors

IRCA は登録授与により、審査員は航空宇宙産業において以下について理解しており、以下の力量を備えていると認識したことになります（レベルや特定の分野による）：

- 適切で倫理的な行動、公平なプレゼンテーション、並びに、審査員として備えるべき専門的配慮の原則を固持できる
- 組織の全階層の要員と、口頭及び書面にて**英語**で明確なコミュニケーションがとれる
- 航空宇宙品質マネジメントシステム（AQMS）の審査を計画し、統制できる
- 関連するビジネスプロセスを特定し、理解できる
- 客観的証拠を評価し、AQMS の有効性を判断できる
- 審査の所見及び結論を正確に報告できる
- 審査チームを指揮し、審査プロセスを管理できる
- マネジメントプロセスを審査できる

このプログラムは、航空宇宙産業における以下の要員を対象にしています：

- 品質マネジメントシステム審査員、例えば、第三者審査登録機関に雇用されている者、又は、購買組織に雇用されている者
- 品質関係者、例えば、品質コンサルタント、品質管理者、並びに、その他の品質にかかわる要員

## 航空宇宙審査員登録要求事項

- 自己の所属する組織において、品質マネジメントシステム監査（内部監査）を実施する要員

本書では、新規申請者及び現在 IRCA に登録されている審査員の方々に以下に関する情報及び指示を提供しています：

- 登録と認定
- 登録と認定プロセス及び申請方法
- 新規登録要求事項
- 認定要求事項
- 登録更新要求事項及び継続的専門知識の啓発（CPD）に関する要求事項
- 再認定要求事項
- 登録に認められる審査の種類
- 認定に認められる審査の種類
- 料金
- 行動規範

全一般航空宇宙審査員の情報は IRCA の登録簿に記載され、登録簿は一般公表されています。全ての認定された航空宇宙審査員及び航空宇宙経験審査員の情報はオンライン航空宇宙供給者情報システム（OASIS—Online Aerospace Supplier Information System）のデータベース上にて公表されています（[www.sae.org/oasis](http://www.sae.org/oasis)）。

### 「一般航空宇宙審査実施の力量」と「ASCS 審査実施の力量」の違い

先述のとおり、航空宇宙審査員登録プログラムでは ACSC の制度に基づいた審査と、「その他すべての航空宇宙審査」を区別しています。

航空宇宙産業に対する「その他すべての航空宇宙審査」で、ASCS の制度に基づかない審査の際に発揮される力量は、一般的な航空宇宙審査の力量と判断します。この一般的な力量は、世界的に認知されている航空宇宙の第三者監査及び第三者認証審査を実施する際に求められる、ASCS の要求事項を満たした ASCS 審査の力量とは異なります。

このプログラムでは、一般的な力量と、ASCS 審査力量の両方を扱っています。しかし、一般航空宇宙審査員登録と ASCS に基づいた審査員認定の要求事項を明確に区別しています。

このプログラムに登録する審査員は、登録レベルや分野に関係なく、航空宇宙産業において ISO 9001 : 2000/2008 に基づいた審査を実施する力量があると IRCA が判断します。一般的な航空宇宙審査の力量に基づいて授与されるレベルは、基本レベルとします。一例として、**航空宇宙主任審査員**は、基本レベルになります。認定された 9100 航空宇宙トレーニングコース及び試験を合格修了した基本レベル審査員で、認定資格を有さない者は、基本レベルにプラスして 9100 を付与されます。また、9110 及び 9120 航空宇宙トレーニングコース/試験を合格修了すると、9100 基本レベル登録に 9110 及び 9120 を加えることができます。基本レベル（例：「審査員補」や「プリンシパル審査員」など）の決定は、AS/EN/JISQ 9100 や同等の規格を使用したかどうかに関わりなく、航空宇宙産業において ISO 9001 : 2000/2008 に照らして実施した審査件数に応じて行われます。

ASCS 航空宇宙審査員あるいは航空宇宙経験審査員（つまり AS9104/3/EN 9104-003 の全ての力量要求事項に合致した者）として認定された者には、OASIS データベースへの登録資格が与えられます。航空宇宙審査員および航空宇宙経験審査員はそれぞれの AQMS 規格（つまり 9110、9100 あるいは 9120）の力量要求事項に基づき認定されます。航空宇宙審査員および航空宇宙経験審査員は認定されたそれぞれの AQMS 規格で OASIS に登録されます。例えば **航空宇宙経験審査員+9100+9120** などです。

航空宇宙審査員登録プログラムへの登録及び/又は認定は、本文書に規定されている要求事項を満たす全世界のすべての個人に対して行われ、登録を限定するものではありません。

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

この航空宇宙プログラムのパート 2 に記載のとおり、航空宇宙審査員 (AA) または航空宇宙経験審査員 (AEA) の認定要求事項を満たす審査員は、AA または AEA としての認定を申請し、OASIS データベースへの登録することが可能です。

## 2. 登録レベル及び登録要求事項

IRCA は、申請者が実証する航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) の効果的な審査に求められる力量に基づき申請を評価します。この力量は、修了した教育、実務経験、審査員トレーニングや審査経験により立証することができます。

航空宇宙内部監査員レベルに関しては、特に指示がない限り、限定された分野での浅い力量を認めます。

### パート I: 一般航空宇宙審査員としての登録

このパートは、AS/EN/JISQ 9100 シリーズを含めた航空宇宙規範又は規格に照らして審査を実施する審査員ではあるが、航空宇宙審査実施の力量を ASCS に認められる必要がなく、審査員の情報を OASIS データベースに登録される必要のない審査員のためのものです。

### 基本レベル

航空宇宙審査員プログラムのこのパートには 6 つの登録レベルがあります。基本レベルとなるのは下記の通りです：

- 航空宇宙内部監査員補
- 航空宇宙内部監査員
- 航空宇宙審査員補
- 航空宇宙審査員
- 航空宇宙主任審査員
- 航空宇宙プリンシパル審査員

### 各レベルの概要

どのレベルが適切かを判断する助けとして、各レベルの特徴を後述いたします。より深い理解のために、このセクションの最後にある備考の欄もご参照ください。

#### ■ 航空宇宙内部監査員補

本レベルにふさわしい申請者

本レベルは入門・トレーニングレベルであり、内部監査レベルとして登録されるために必要な内部監査経験をまだ積んでいない申請者向けです。

多くの内部監査員は初期トレーニングを受けた後に、ファースト・ステップ (初めの一歩) としてこのレベルからスタートします。

本レベルへの最小限の登録要求事項の概要：

#### 教育 (備考 1)

- 中等教育以上 (備考 1)

#### 実務経験 (備考 2)

- 5 年間の実務経験。学位又は学位同等資格を有する申請者は 4 年間
- 1 年間の航空宇宙産業の関連業務
- 1 年間の品質実務経験

#### 審査員トレーニング (備考 3)

- IRCA 認定 QMS ファンデーションコース、あるいは、その他の認められるコース

- IRCA 認定 QMS 内部監査員コース、あるいは、その他の認められるコース

### 審査経験（備考 4）

- なし

## ■ 航空宇宙内部監査員

### 本レベルにふさわしい申請者

申請者が、申請者の組織の QMS 内部監査を実施するのであれば、このレベルを考慮してください。ほとんどの場合、監査員として常勤するのではなく、年に数回だけ監査を実施するだけかもしれません。しかし、品質マネジメントシステム及び、それが組織内においてどのような付加価値を生むかを良く理解できるようになります。

内部監査は申請者の業務の一部にとどまるので、その他のレベルに要求される資格及び経験と同等のものは要求していません。

申請者の力量を認知するその他の資格と同様に、本レベルへの登録は申請者にとって有益なものです。この登録は申請者の力量を示すものであるだけでなく、組織のマネジメントシステムをサポートするという意味においても、雇用主から高く評価されます。

本レベルへの最小限の登録要求事項の概要：

### 教育（備考 1）

- 中等教育以上（備考 1）

### 実務経験（備考 2）

- 5 年間の実務経験。学位又は学位同等資格を有する申請者は 4 年間
- 1 年間の航空宇宙産業の関連業務
- 1 年間の品質実務経験

### 審査員トレーニング（備考 3）

- IRCA 認定 QMS ファンデーションコース、あるいは、その他の認められるコース
- IRCA 認定 QMS 内部監査員コース、あるいは、その他の認められるコース

### 審査経験（備考 4）

- 航空宇宙産業内で実施された 5 件の監査。合計時間が 15 時間以上。

## ■ 航空宇宙審査員補

### 本レベルにふさわしい申請者

本レベルは入門・トレーニングレベルです。申請者が、審査を自分のキャリアにしたいと考えているのであれば、このレベルを考慮してください。本レベルは、適切な個人的資質や教育、専門的並びに技術的な力量を備えているが、その他のレベルの登録に必要とされる審査経験要求事項を満たすに十分な機会がない方を対象としています。ほとんどのキャリアのある審査員はこのレベルからスタートしていますので、本レベルは審査員としてのファースト・ステップ（初めの一歩）といえるでしょう。

また本レベルは、審査業務から一時的に遠ざかっている、又は、審査業務からマネジメント業務への職務変更があったものの、IRCA への登録を維持したいと考えている審査員にも適用されます。

本レベルへの最小限の登録要求事項の概要：

### 教育（備考 1）

- 中等教育以上

### 実務経験（備考 2）

- 5 年間の実務経験。学位又は学位同等資格を有する申請者は 4 年間
- 4 年間の航空宇宙産業の関連業務
- 2 年間の品質実務経験
- 航空宇宙産業の関連業務が 4 年に満たない場合には、備考 2 を参照

### 審査員トレーニング（備考 3）

- IRCA 認定 QMS 審査員/主任審査員コース、あるいは、その他の認められるコース

### 審査経験

- なし

## ■ 航空宇宙審査員

### 本レベルにふさわしい申請者

本レベルは、審査員補レベルから辿って進んだレベルであり、審査経験を満たした審査員は、（審査員補からの）昇格を申請するようにお勧めいたします。本レベルは、審査員としての力量があり、審査チームの効果的なメンバーとして貢献している審査員を対象としています。本レベルは、昇進の次なるステップと見なされ、本レベルを保持する審査員のほとんどは、主任、又は、プリンシパルへの昇格を考慮しています。

本レベルへの最小限の登録要求事項の概要：

### 教育（備考 1）

- 中等教育以上

### 実務経験（備考 2）

- 5 年間の実務経験。学位又は学位同等資格を有する申請者は 4 年間
- 4 年間の航空宇宙産業の関連業務
- 2 年間の品質実務経験
- 航空宇宙産業の関連業務が 4 年に満たない場合には、備考 2 を参照

### 審査員トレーニング（備考 3）

- IRCA 認定 QMS 審査員/主任審査員コース、あるいは、その他の認められるコース

### 審査経験（備考 4）

- 見習い審査員としての、合計 20 日以上にわたる 4 件の審査。その内 10 日以上はオンサイトでの審査

## ■ 航空宇宙主任審査員

### 本レベルにふさわしい申請者

認証機関に勤める審査員のほとんどは、大規模な組織に対して供給者審査を実施する主任審査員です。本レベルは、審査を運用管理し、チームを率先する経験を積んだ、力量を備えた審査員を対象としています。

本レベルへの最小限の登録要求事項の概要：

### 教育（備考 1）

- 中等教育以上

### 実務経験（備考 2）

- 5 年間の実務経験。学位又は学位同等資格を有する申請者は 4 年間

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

- 4年間の航空宇宙産業の関連業務
- 2年間の品質実務経験
- 航空宇宙産業の関連業務が4年に満たない場合には、備考2を参照

### 審査員トレーニング（備考3）

- IRCA 認定 QMS 審査員/主任審査員コース、あるいは、その他の認められるコース

### 審査経験（現在航空宇宙審査員レベルを有していない場合の合計件数・日数）（備考4）

- 見習い審査員としての、合計20日以上にわたる4件の審査。その内10日以上はオンサイトでの審査。
- 見習い主任審査員としての、合計15日以上にわたる3件の審査。その内10日以上はオンサイトでの審査。

## ■ 航空宇宙プリンシパル審査員

### 本レベルにふさわしい申請者

本レベルは、主任審査員の代替レベルとして考案されました。このレベルに該当するのは、独立して活動する主任審査員で、以下2つの分野のいずれかに関して相当の経験及び力量を備えた審査員です（すなわち、1人で1チームを形成して、単独審査を実施する審査員）：

- 航空宇宙産業における品質コンサルティングの経験のある審査員（主要な力量：品質マネジメントシステムを実施でき、外部の支援なしで、審査プロセスのすべての側面を実施できること）
- （主任審査員として）審査チームを率先してきたものの、現在は独立して審査を実施している審査員（主要な力量：審査マネジメントとチームリーダーシップ）

IRCA は、プリンシパル審査員と主任審査員は、同レベルの基準であると考えており、同時に複数のレベル（プリンシパル審査員レベルと主任審査員レベルなど）への登録は意図しておりません。

本レベルへの最小限の登録要求事項の概要：

### 教育（備考1）

コンサルタントルート：

- 学位あるいは学位同等資格

あるいは

チームリーダールート：

- 中等教育以上

### 実務経験（備考2）

コンサルタントルート：

- 6年間の品質実務経験

あるいは

チームリーダールート：

- 5年間の実務経験。学位又は学位同等資格を有する申請者は4年間
- 4年間の航空宇宙産業の関連業務
- 2年間の品質実務経験
- 航空宇宙産業の関連業務が4年に満たない場合には、備考2を参照

### 審査員トレーニング（備考3）

- IRCA 認定 QMS 審査員/主任審査員コース、あるいは、その他の認められるコース

### 審査経験（備考4）

コンサルタントルート：

- 合計 35 日以上にわたる 7 件の単独審査又は、主任審査。その内 20 日以上はオンラインでの審査（これらの件数及び日数は、航空宇宙審査員又は、主任審査員レベルを有していないと想定）。

あるいは

チームリーダールート：

- 6 年間の主任審査員レベル登録
- 3 件の単独審査。複雑かつ厳しい状況において、効果的なマネジメントスキルが求められる審査。

備考 1：

#### 教育

航空宇宙プリンシパル審査員（コンサルタントルート）以外のすべてのレベルについては、中等教育以上を修了している必要があります。学位又は学位同等資格<sup>1</sup>保有者は、実務経験の要求年数が短縮されません。

認められる資格には、国家政府機関、又は国家専門機関認定の機関により授与された資格を含みます。

航空宇宙プリンシパル審査員（コンサルタントルート）レベルについては、学位、学位同等資格、あるいはその他の認められる同等資格を有している必要があります。

関連する科目について授与された大学院のディプロマ、学士、修士、博士号は通常認められます。

備考 2:

#### 実務経験

一般的、関連する実務経験：

すべてのレベルで、申請者は 5 年以上の関連性のある航空宇宙産業の実務経験を有している必要があります。航空宇宙プリンシパル審査員（コンサルタントルート）を除き、学位又は学位同等資格保有者は、実務経験の年数が 4 年間に短縮されます。関連性のある実務経験とは、技術職、管理職、あるいは専門職など、判断力を行使し、問題を解決し、他のマネージャー、労働者（従業員）並びに顧客とのコミュニケーションが要求される業務であると考えます。

航空宇宙プリンシパル審査員（コンサルタントルート）については、申請者は 6 年以上の実務経験を有しており、その内すべてが、航空宇宙産業における品質実務経験でなければなりません。以下を参照してください：

品質実務経験：

航空宇宙内部監査員及び、航空宇宙プリンシパル審査員（コンサルタントルート）を除くすべてのレベルについては、申請者は品質及び品質に関わる業務が大半を占める業務に 2 年間就業（これは実務経験合計年数の 4 年又は 5 年に含めることができます）していなければなりません。また、そのような経験により、申請者は航空宇宙産業内で品質マネジメントシステムを効果的に審査するのに必要な実用的知識を得ていなければなりません。

---

<sup>1</sup> IRCA では、学位の指標として、英国の学位の定義を使用しています。しかし、英国内及びその他の国で授与された学位のすべてがこの基準を満たすわけではないことも認識しております。その内容あるいは期間において不完全であると区別されるものも多く、それらは「学位同等の資格」とします。本プログラムの目的上、IRCA はこの学位同等の資格を、本要求事項の高等教育修了の意図を満たすものとみなし、これを学位同等のものとして認めます。

## 航空宇宙審査員登録要求事項

航空宇宙内部監査員レベルについては、要求事項は1年間の品質実務経験ですが、より一般的な内容の品質実務経験を認めることとします。

航空宇宙プリンシパル審査員（コンサルタントルート）については、申請者は6年以上の品質実務経験が必要です。この実務経験は、マネジメントシステムの構築、実施、維持並びに審査に関連する経験が含まれていなければなりません。このような実務経験の大半は、組織の上層部で経験したものでなければなりません。この経験は、従業者として得たものであっても、雇用者として得たものであっても良いとします。IRCAは、航空宇宙産業内で得た品質に関わる力量の証拠の提出を求めていますので、審査実績は最大3年間まで（本要求事項の半数）を該当するものとして認めます。申請者は、過去10年以内に6年間の品質実務経験を有していなければなりません。

すべてのレベルで、研修期間（見習い期間）はこの実務経験要求事項に含めることができません。

### 航空宇宙実務経験：

航空宇宙内部監査員と航空宇宙プリンシパル審査員を除くすべてのレベルについては、航空宇宙産業におけるフルタイムでの実務経験が4年以上必要です。この実務経験には、大手の航空エンジン・航空機体製造業者、第一供給者（プライムサプライヤー）、付属装置供給者、及び/又はNAA（National Aviation Authority）、ESA（European Space Agency）、NASA、Mod/DoDなどの国家軍部、航空組織における、エンジニアリング・開発、製造、品質保証又はプロセス管理に直接関わる業務（4年間の航空宇宙実務経験は、暦年で過去10年間以内のものとし、す）などがあります。

上記3種類の実務経験（一般、品質及び航空宇宙）の要求事項は、別々にではなく同時に満たすことができます。

### 航空宇宙産業の関連業務が4年に満たない申請者

過去10年以内に航空宇宙産業での関連業務経験が4年に満たない申請者は、過去15年以内に2年間の航空宇宙産業での関連業務と以下を前提として、下記の代替ルートにより登録が可能です。

審査員補：認定された9100航空宇宙産業固有のコースの合格修了者

航空宇宙審査員および航空宇宙主任審査員：認定された9100航空宇宙産業固有のコースの合格修了、かつ本代替ルートではなく正規ルートで登録された主任審査員の立会いを受けて実施した2件のフルシステム審査。この立会い担当の主任審査員は当該2件の審査に参加してはならない。

備考3:

### 航空宇宙監査・審査員トレーニング

航空宇宙内部監査員レベルについては、申請者は

IRCA認定QMSファンデーションコース（あるいは、その他の認められるコース）、並びにIRCA認定QMS内部監査員コース（あるいは、その他の認められるコース）

あるいは

その他のレベルで指定しているトレーニングコースを修了していること。

その他のすべてのレベルについては、次を合格修了していること：

IRCA認定QMS審査員/主任審査員コース（あるいは、その他の認められるコース）

その他の認められるコースには、IRCA以外のトレーニング認定機関によって認定されたQMSコースが含まれます。例えば、JAB並びにRAB認定コースの内、同等の水準であると認めるものもあります（すべてのコースを認めるわけではありません）。例外的にIRCAはその他の手段を通じて修了したトレーニングを認めることも考慮いたしますが、申請者は、そのトレーニングが少なくともIRCA要求事項を満たしていることをIRCAに納得させなければなりません。

申請者は通常、登録申請に先立つ3年以内に、審査員トレーニングを合格修了していなければなりません。申請者が、最新の関連性のある実務経験、及び、申請者の審査技能が現在でも通用するという証拠を提示するのであれば、IRCAは、この期間より以前に修了したトレーニングを認めることもあります。

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

IRCA 認定 QMS 審査員トレーニングコースを開催している IRCA 認定のトレーニング機関の最新版一覧は、IRCA ウェブサイトをご覧ください。

**注意：「参加証明書」は認められません。**

備考 4:

### 航空宇宙監査・審査経験

航空宇宙内部監査員補レベル：

なし

航空宇宙内部監査員レベル：

申請者は 5 件以上の航空宇宙内部監査を実施している必要があります。このなかにサーベイランス審査を含むこともできます。5 件の監査はいずれも 3 時間以上のものであり、すべての監査サイクル（監査計画、文書レビュー、監査、インタビュー、監査報告）を含んだものでなければならず、自分が活動している領域あるいは活動を含んだ監査であってはなりません（例えばラインマネージャーなど、申請者が直接的あるいは間接的に責任を有する活動の監査は認められます）。

航空宇宙審査員補レベル：

このレベルへの登録には、審査経験は必要ありません。

航空宇宙審査員レベル：

申請者は過去 3 年以内に 4 件以上の完全な審査に参加していなければなりません。これらの審査は合 20 日以上であり、その内 10 日はオンサイトの審査でなければなりません。審査活動には、文書レビュー、オンサイトでの審査活動の準備及び実施、並びに審査報告を含んでいなければなりません。

申請者は、チームリーダーとしての力量を備えた審査員（その時点で主任審査員登録をしている者、あるいは、同等の力量を備えた者）の指導及びガイダンスに従ってすべての審査を完了していることを推奨しますが、多くの審査員にとってこのことを準備するのは難しく費用もかかることを認識しています。よって IRCA は最低 1 件の審査がこの条件のもと行われていれば申請を認めます。IRCA はこのチームリーダーに申請者が審査チームのメンバーとしての力量があること立証することを求める場合があります。

航空宇宙主任審査員レベル：

申請者は上記航空宇宙審査員レベルの審査要求事項に加え、過去 3 年以内に、2 人以上の審査員を含む審査チームのリーダーとして 3 件の完全な審査を実施していなければなりません。そのうち 1 件には設計の要素が含まれていなければなりません。

その 3 件の主任審査は 15 日以上でなければならず、その内 10 日はオンサイトの審査でなければなりません。

申請者は、チームリーダーとしての力量を備えた審査員（その時点で主任審査員登録をしている者、あるいは、同等の力量を備えた者）の指導及びガイダンスに従ってすべての審査を完了していることを推奨しますが、多くの審査員にとってこのことを準備するのは難しく費用もかかることを認識しています。よって IRCA は最低 1 件の主任審査がこの条件のもと行われていれば申請を認めます。IRCA はこのチームリーダーに申請者が審査チームリーダーとしての力量があることを立証することを求める場合があります。

申請者がすでに航空宇宙審査員レベルに登録されているのであれば、上記 3 件の主任審査のみを実施していれば申請可能です。

航空宇宙プリンシパル審査員レベル：

コンサルタントルートに関しては、申請者は、過去 3 年以内に、合計 35 日、その内 20 日はオンサイトで実施した 7 件以上のフルシステムの単独又は主任審査を実施していなければなりません。

## 航空宇宙審査員登録要求事項

申請者がすでに航空宇宙審査員レベルに登録されているのであれば、合計 15 日以上、その内 10 日はオンラインサイトで実施した 3 件以上の単独又は主任審査を実施していれば申請可能です。そのうち 1 件には設計の要素が含まれていなければなりません。

チームリーダールートに関しては、申請者は 6 年以上主任審査員として登録されていなければなりません（例外的に、主任審査員としての登録が 6 年未満の場合でも、その短い期間内にチームを指揮するにあたり、極めて重要で包括的な経験があることを証明できれば、これを認めることを考慮します）。加えて複雑かつ力量が問われる状況において、効果的な審査マネジメント技量を実証することが必要とされる 3 件の単独審査を 3 年以内に実施していなければなりません。これらの審査は複雑な組織で実施された 2 日以上にわたる初回審査であることが望ましいでしょう。

### 審査の認可についての一般指針：

#### 認められる審査

すべてのレベルで、申請に先立つ 3 年以内に実施された審査のみ認めます。IRCA は「申請に先立つ期間」を IRCA が申請者の記入済申請書類を受理した日からさかのぼって数えることとします。

すべての審査経験はログシートに記入して提出し、検証ができるものでなければなりません。IRCA が審査の検証をするために、実施した審査について詳細な情報を提出してください。また、IRCA が検証作業をするために必要になる連絡先詳細を記入してください。

IRCA が認める審査は、審査の指針規格である ISO 19011 : 2002 に従い ISO 9001 : 2000/2008 に照らした審査、AS/EN/JISQ 9100 又はその他の IRCA が同等であると認める規格に照らした審査です。その他の国内規格、国際規格、あるいは社内規格に照らした審査を認めることもあります。

IRCA が認める審査は、供給者監査（第三者監査、SPA）、認証審査（第三者審査、TPA）、内部監査（第一者監査、FPA）です。また第一者、第三者、第三者審査（監査）として実施される、コンサルタント審査（監査）（以下を参照）も認めます。

#### 内部（第一者）監査：

航空宇宙内部監査員レベルについては、IRCA は、申請者が監査を実施する業務活動から独立している場合に、申請者の所属する航空宇宙組織のある部分について申請者が実施した内部監査を認めます。

その他のレベルの申請者については、申請者が監査を実施する業務活動から独立していることに加え、監査の適用範囲が十分に広いものであり、その監査が、幅広い監査技能を必要とするような非常に複雑なものである場合、内部監査を認めることも考慮します。IRCA が内部監査を認めるにあたり、申請者は裏付けとなる適切で関連性のある情報を提出してください。

#### コンサルタント審査：

以下のすべてが満たされている場合、申請者がクライアントに対しコンサルタントという立場で実施した審査を認めます：

- 審査以前に、クライアント（被審査者）に、既に確立した QMS があること。
- 申請者が、審査対象の QMS を構築する一端を担っていないこと（以下のような特別な場合を除く）。
- 申請者が被審査者から独立している。
- 審査の適用範囲が、QMS のすべての要素を含んでいる。

また、申請者が構築に携わった QMS に関しては、認証機関が初回登録審査で認証を与えた場合、申請者が携わった事前審査を認めます。

#### サーベイランス（部分システム）審査：

新規登録申請時には（航空宇宙内部監査員レベルを除く）通常、サーベイランス（部分システム）審査を認めません。しかし、登録更新の際にはサーベイランス審査を認めます。一般原則として、少なくとも 5 件

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

のサーベイランス審査をもって認めますが、その審査の合計時間数は少なくとも現地で 20 人日でなければなりません。

認められない審査：

以下の審査は認めません：

- 12 ヶ月に 2 回以上の頻度で繰り返し実施される QMS 審査
- 航空宇宙内部監査員レベルを除き、1 日に満たない審査（6 時間のオンサイトでの審査、休憩時間を除く）（内部監査員レベルに関しては休憩時間を除いた 3 時間の監査を認めます）。
- ギャップ分析、不適合への是正処置完了の検証、フォローアップ訪問
- 正式なトレーニング要求事項を満たす前に実施した審査
- ステージ 1 における文書レビュー

### パート II : 航空宇宙審査員又は航空宇宙経験審査員としての認定

- 登録プログラムの本パートは、QMS 9001 または航空宇宙品質マネジメントシステム規格 AS/EN/JISQ 9100 シリーズに照らした航空宇宙審査を実施しており、認定された ICOP (Industry Controlled Other Party) プロセスにおける供給者の認定に基づいた認証制度への参加及び OASIS データベースへの個人情報の登録を希望している審査員のためのものです。
- IRCA は、他の AAB または ICOP スキームへのセクターマネジメントスキーム (SMS) により登録された審査員 (AEA および AA) で、現在 OASIS データベースにおいて認定されている者についても認めます。しかし、登録は 1 つの AAB にしかできません。

### 認定

航空宇宙審査員の認定プロセスには 2 つのカテゴリーがあります。つまり、航空宇宙審査員 (AA) および航空宇宙経験審査員 (AEA) です。

- 航空宇宙審査員 (9100 及び/又は 9110 及び/又は 9120)
- 航空宇宙経験審査員 (9100 及び/又は 9110 及び/又は 9120)

認定には、3 つの AQMS 規格、9100、9110、9120 のそれぞれに対する力量を評価するための、3 つのスコープがあります。この力量を実証するために満たさなければならない要求事項は AS/EN/JISQ/9104-3 規格に含まれており、以下にまとめる通りです。

いずれか、又は 3 つすべての分野に対して AA または AEA となるには、申請者は以下の要求事項を満たさなければなりません。

### 審査員として認められる者

国家が認める審査員認定機関 (AAB) に品質マネジメントシステム (QMS) 審査員として登録しているか、または教育、訓練、実務経験及び ISO 19011 に基づいた審査経験を満たしていなければなりません。

### ■+ 9100

#### 航空宇宙審査員 (AA) としての認定

- トレーニング : AQMS 審査員トレーニング : 認定された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 9100 ファンデーションコースの合格修了 (AS/EN/JISQ 91043 参照)。

**注意 : QMS (ISO9001) 審査員トレーニングコースを合格修了しているか、認定された AQMS 9100 規格審査員コース (AS/EN/JISQ 91043 参照) を合格修了している場合のみ、AQMS ファンデーションコースを受講することができます。**

このトレーニングの開催場所や、受講方法に関する詳細は、国家航空宇宙産業協会 (NAIA) <sup>3</sup> にお問い合わせください。

- **審査経験** : 申請者は過去 3 年以内に 4 件の QMS または AQMS (9100) の審査に参加しており、少なくともうち 2 件は設計要素を含んでいること (部分/サーベイランス審査は認められません)。QMS 審査は航空宇宙業界の組織に対するものでなくても構いません。第三者監査および第三者審査の両方を考慮しなければなりません。審査はオンサイトで合計 20 人日にわたって実施されていなければなりません。ISO 9001:2000/2008 または同等規格の全要素を網羅していなければなりません。AQMS 審査は、主に航空宇宙業界の組織に対して実施されていなければなりません。

AA としての認定を受けるには、AQMS の実務経験は一切必要なく、業界に特化したトレーニングの完了、および審査員評価要求事項を満たす必要もありません。

### 航空宇宙経験審査員（AEA）としての認定

- トレーニング：認定された航空宇宙品質マネジメントシステム（AQMS）9100 ファンデーションコースの合格修了（AS/EN/JISQ 91043 参照）

**注意：QMS（ISO9001）審査員トレーニングコースを合格修了しているか、認定されたAQMS 9100 規格審査員コース（AS/EN/JISQ 91043 参照）を合格修了している場合のみ、AQMS ファンデーションコースを受講することができます。**

このトレーニングの開催場所や、受講方法に関する詳細は、国家航空宇宙産業協会（NAIA）にお問い合わせください。

- **AQMS 実務経験**：申請者は、航空宇宙産業におけるフルタイムでの実務経験が4年以上必要です。この実務経験には、大手の航空エンジン・航空機体製造業者、第一供給者（プライムサプライヤー）、付属装置供給者、及び/又はNAA（National Aviation Authority）、ESA（European Space Agency）、NASA、Mod/DoDなどの国家軍部、航空組織における、エンジニアリング・開発、製造、品質保証又はプロセス管理に直接関わる業務（4年間の航空宇宙実務経験は、暦年で過去10年間以内のものとし、4年間の航空宇宙実務経験は、暦年で登録申請から10年間以内のものとし、この実務経験には以下の業務に直接関与していること、もしくはその知識を有していることが含まれます）：
  - 航空宇宙産業における品質の全体像
  - 関連する民間航空当局の要求事項や規制
  - 軍部の航空宇宙要求事項と規制に関する方針
  - 初回品質検査（AN/EN/JISQ 9102）
  - 耐空性と安全に関する要求事項
  - 設計、開発、検証及び妥当性の確認
  - 航空宇宙資材のトレーサビリティ要求事項
  - 航空宇宙下請負業者の承認及び管理の要求事項
  - 主要な特性の変動管理（9103）
  - 品質要求事項のフローダウン
  - 異物損傷（FOD）防止プログラム要求事項
  - 顧客支給品の使用
  - 校正管理と確実な回収システム
  - 認定機関
  - 不適合資材、システム要求事項とシステム運用
  - サンプル検査の要求事項と制限
  - 特殊工程
  - コンフィギュレーションマネジメント／要求事項管理
  - 製造技法
  - ツール管理

申請者が10年以内に4年間の要求事項を満たせない場合、登録申請より暦年で15年以内における2年間の航空宇宙品質マネジメントシステムの実務経験および以下の項目により代替とすることができます。

## 航空宇宙審査員登録要求事項

1. 認定された 9100 航空宇宙産業固有のコース (AS/EN/JISQ91043 参照) の合格修了
2. 本代替ルートで資格を得たのではない航空宇宙経験審査員による立会いを受けた 2 件のフルシステム審査の完了。立会いを担当する航空宇宙経験審査員は当該審査に参加しないこと。

また、立会いを受けた審査が首尾よく実施された旨の文書証拠がなければなりません。コースと研修機関とともにトレーニング機関認定機関 (TPAB) によって NAIA<sup>3</sup> に認知されたコース/機関として認定されていなければなりません。コースには上記実務経験のセクションで言及した、最低限の要素が含まれていなければなりません。

- **審査経験**：申請者は過去 3 年以内に 4 件の QMS または AQMS (9100) の審査に参加しており、少なくともうち 2 件は設計要素を含んでいること (**部分/サーベイランス審査は認められません**)。QMS 審査は航空宇宙業界の組織に対するものでなくても構いません。**第三者監査および第三者審査の両方を考慮しなければなりません**。審査はオンサイトで合計 20 人日にわたって実施されていなければなりません。審査は、ISO 9001:2000/2008 または同等規格の全要素を網羅していなければなりません。AQMS 審査は、主に航空宇宙業界の組織に対して実施されていなければなりません。

■<sup>3</sup> NAIA は各国に存在し、その国の航空宇宙産業を代表する組織です。例：AIA (アメリカ)、AIAD (イタリア)、ATECMA (スペイン)、BDLI (ドイツ)、GEBECOMA (ベルギー)、GIFAS (フランス)、NAI (オランダ)、SAI (スウェーデン)、SBAC (イギリス)、SJAC (日本航空宇宙工業会)、JAA (日本航空協会) 等。

### + 9110 (維持)

#### 航空宇宙審査員 (AA) としての認定

- トレーニング：認定された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 9110 ファンデーションコースの合格修了 (AS/EN/JISQ 91043 参照)

**注意**：QMS (ISO9001) 審査員トレーニングコースを合格修了しているか、認定された AQMS 9100 規格審査員コース (AS/EN/JISQ 91043 参照) を合格修了している場合のみ、AQMS ファンデーションコースを受講することができます。

このトレーニングの開催場所や、受講方法に関する詳細は、国家航空宇宙産業協会 (NAIA) にお問い合わせください。

**審査経験**：申請者は過去 3 年以内に 4 件の QMS または AQMS (9100) の審査に参加しており、少なくともうち 2 件は設計要素を含んでいること (**部分/サーベイランス審査は認められません**)。QMS 審査は航空宇宙業界の組織に対するものでなくても構いません。**第三者監査および第三者審査の両方を考慮しなければなりません**。審査はオンサイトで合計 20 人日にわたって実施されていなければなりません。審査は、ISO 9001:2000/2008 または同等規格の全要素を網羅していなければなりません。AQMS 審査は、主に航空宇宙業界の組織に対して実施されていなければなりません。

AA としての認定を受けるには、AQMS の実務経験は一切必要なく、業界に特化したトレーニングの完了、および審査員評価要求事項を満たす必要もありません。

#### 航空宇宙経験審査員 (AEA) としての認定

- トレーニング：認定された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 9110 ファンデーションコースの合格修了 (AS/EN/JISQ 91043 参照)

## 航空宇宙審査員登録要求事項

**注意：QMS (ISO9001) 審査員トレーニングコースを合格修了しているか、認定された AQMS 9100 規格審査員コース (AS/EN/JISQ 91043 参照) を合格修了している場合のみ、AQMS ファンデーションコースを受講することができます。**

このトレーニングの開催場所や、受講方法に関する詳細は、国家航空宇宙産業協会 (NAIA) にお問い合わせください。

- **実務経験：**申請者は、航空宇宙産業におけるフルタイムでの実務経験が4年以上必要です。この実務経験には、大手の航空エンジン・航空機体製造業者、第一供給者（プライムサプライヤー）、付属装置供給者、及び/又は NAA (National Aviation Authority)、ESA (European Space Agency)、NASA、Mod などの国家軍部、航空組織における、エンジニアリング・開発、製造、品質保証又はプロセス管理に直接関わる業務（4年間の航空宇宙実務経験は、暦年で過去10年間以内のものとし、）などがあります。この実務経験には業務に直接関与していること、上述+9100のセクションに示した、航空宇宙行特有側面の知識を有していることが含まれます。
- さらに、申請者は過去4年間に修理/保全を実施する2年間のフルタイムの実務経験、又は、修理/保全における特定のトレーニングを実証できなければなりません。実務経験には業務に直接関与していること、あるいは少なくとも以下の項目1および2の知識を有していることが含まれます。
- 1. European Aviation Safety Agency (EASA)/Federal Aviation Regulations (FAR)145/147、EASA part M あるいは他の承認されている民間航空規則
- 2. 整備プロセス
- 3. 飛行テスト
- 4. 飛行前の機能チェック
- 5. 重量とバランス
- 6. ウィング・ウォーク
- 7. マーシャリング技術

申請者が10年以内に4年間の要求事項を満たせない場合、登録申請より暦年で15年以内における2年間の航空宇宙品質マネジメントシステムの実務経験および以下の項目により代替とすることができます。

1. 認定された航空宇宙産業の (9110) 修理/保全に関する特定のトレーニングコースの合格修了 (AS/EN/JISQ 91043 参照)
2. 本代替ルートで資格を得たのではない航空宇宙経験審査員による立会いを受けた2件の9110の完全審査の完了。立会い担当の航空宇宙経験審査員は当該審査に参加してはならない。

また、立会いを受けた審査が首尾よく実施された旨の文書証拠がなければなりません。コースと研修機関はともにトレーニング機関認定機関 (TPAB) によって NAIA<sup>3</sup> に認知されたコース/機関として認定されていなければなりません。コースには上記実務経験のセクションで言及した、最低限の要素が含まれていなければなりません。

**審査経験：**申請者は過去3年以内に4件のQMSまたはAQMS (9100) の審査に参加しており、少なくともうち2件は設計要素を含んでいること（部分/サーベイランス審査は認められません）。QMS 審査は航空宇宙業界の組織に対するものでなくても構いません。第三者監査および第三者審査の両方を考慮しなければなりません。審査はオンサイトで合計20人日にわたって実施されていなければなりません。審査は、ISO 9001:2000/2008 または同等規格の全要素を網羅していなければなりません。AQMS 審査は、主に航空宇宙業界の組織に対して実施されていなければなりません。

+ 9120 (流通/保管業者)

### 航空宇宙審査員 (AA) としての認定

- **トレーニング** : 認定された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 9110 ファンデーションコースの合格修了 (AS/EN/JISQ 91043 参照)

**注意** : QMS (ISO9001) 審査員トレーニングコースを合格修了しているか、認定された AQMS 9100 規格審査員コース (AS/EN/JISQ 91043 参照) を合格修了している場合のみ、AQMS ファンデーションコースを受講することができます。

このトレーニングの開催場所や、受講方法に関する詳細は、国家航空宇宙産業協会 (NAIA) にお問い合わせください。

- **審査経験** : 申請者は過去 3 年以内に 4 件の QMS または AQMS (9100) の審査に参加しており、少なくともうち 2 件は設計要素を含んでいること (部分/サーベイランス審査は認められません)。QMS 審査は航空宇宙業界の組織に対するものでなくても構いません。第三者監査および第三者審査の両方を考慮しなければなりません。審査はオンサイトで合計 20 人日にわたって実施されていなければなりません。審査は、ISO 9001:2000/2008 または同等規格の全要素を網羅していなければなりません。AQMS 審査は、主に航空宇宙業界の組織に対して実施されていなければなりません。

AA としての認定を受けるには、AQMS の実務経験は一切必要なく、業界に特化したトレーニングの完了、および審査員評価要求事項を満たす必要もありません。

### 航空宇宙経験審査員 (AEA) としての認定

- **トレーニング** : 認定された航空宇宙品質マネジメントシステム (AQMS) 9110 ファンデーションコースの合格修了 (AS/EN/JISQ 91043 参照)

**注意** : QMS (ISO9001) 審査員トレーニングコースを合格修了しているか、認定された AQMS 9100 規格審査員コース (AS/EN/JISQ 91043 参照) を合格修了している場合のみ、AQMS ファンデーションコースを受講することができます。

このトレーニングの開催場所や、受講方法に関する詳細は、国家航空宇宙産業協会 (NAIA) にお問い合わせください。

- **実務経験** : 申請者は、航空宇宙産業におけるフルタイムでの実務経験が 4 年以上必要です。この実務経験には、大手の航空エンジン・航空機体製造業者、第一供給者 (プライムサプライヤー)、付属装置供給者、及び/又は NAA (National Aviation Authority)、ESA (European Space Agency)、NASA、Mod/DoD などの国家軍部、航空組織における、エンジニアリング・開発、製造、品質保証又はプロセス管理に直接関わる業務 (4 年間の航空宇宙実務経験は、暦年で過去 10 年間以内のものとし、4 年間の航空宇宙実務経験は、暦年で登録申請から 10 年間以内のものとし、この実務経験には以下の業務に直接関与していること、もしくはその知識を有していることが含まれます :

- 航空宇宙産業における品質の全体像
- 関連する民間航空当局の要求事項や規制
- 軍部の航空宇宙要求事項と規制に関する方針
- 初回品質検査 (AN/EN/JISQ 9102)
- 耐空性と安全に関する要求事項
- 設計、開発、検証及び妥当性の確認
- 航空宇宙資材のトレーサビリティ要求事項
- 航空宇宙下請負業者の承認及び管理の要求事項
- 主要な特性の変動管理 (9103)

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

- 品質要求事項のフローダウン
- 異物損傷（FOD）防止プログラム要求事項
- 顧客支給品の使用
- 校正管理と確実な回収システム
- 認定機関
- 不適合資材、システム要求事項とシステム運用
- サンプル検査の要求事項と制限
- 特殊工程
- コンフィギュレーションマネジメント／要求事項管理
- 製造技法
- ツール管理

申請者が10年以内に4年間の要求事項を満たせない場合、登録申請より暦年で15年以内における2年間の航空宇宙品質マネジメントシステムの実務経験および以下の項目により代替とすることができます。

1. 認定された航空宇宙産業の（9110）修理/保全に関する特定のトレーニングコースの合格修了（AS/EN/JISQ 91043 参照）

2. 本代替ルートで資格を得たのではない航空宇宙経験審査員による立会いを受けた2件の9110の完全審査の完了。立会い担当の航空宇宙経験審査員は当該審査に参加してはならない。

また、立会いを受けた審査が首尾よく実施された旨の文書証拠がなければなりません。コースと研修機関はともにトレーニング機関認定機関（TPAB）によってNAIA<sup>3</sup>に認知されたコース/機関として認定されていなければなりません。コースには上記実務経験のセクションで言及した、最低限の要素が含まれていなければなりません。

- **審査経験：**申請者は過去3年以内に4件のQMSまたはAQMS（9100）の審査に参加しており、少なくともうち2件は設計要素を含んでいること（部分/サーベイランス審査は認められません）。QMS審査は航空宇宙業界の組織に対するものでなくとも構いません。第二者監査および第三者審査の両方を考慮しなければなりません。審査はオンサイトで合計20人日にわたって実施されていなければなりません。審査は、ISO 9001:2000/2008または同等規格の全要素を網羅していなければなりません。AQMS審査は、主に航空宇宙業界の組織に対して実施されていなければなりません。

**AEA** が既に9100の認証を受けており、続いて9120の認証を取得しようとしている場合、9100認定時の実務経験が「10年以内に4年間」の経験要求事項に基づいており、また、取得後審査員ではあったものの、航空宇宙産業に直接雇用されていたのではない場合、先に取得した9100認定が維持されており、現在も有効であるならば、9100認定時の実務経験を含めることができます。他の全ての9120の9104-3要求事項が適用されます。

■<sup>3</sup> NAIAは各国に存在し、その国の航空宇宙産業を代表する組織です。例：AIA（アメリカ）、AIAD（イタリア）、ATECMA（スペイン）、BDLI（ドイツ）、GEBECOMA（ベルギー）、GIFAS（フランス）、NAI（オランダ）、SAI（スウェーデン）、SBAC（イギリス）、SJAC（日本航空宇宙工業会）、JAA（日本航空協会）等。

**AA** 及び **AEA** への申請者で、既に9100または9200に登録している申請者は、通信制の9120AQMSファンデーションコースを受講することができます。この通信コースには、少なくとも

も 4 時間の双方向学習と試験が含まれていなければなりません。これらを満たすことにより、トレーニングの合格修了として記録されます。また、トレーニング及び試験合格の証拠が授与されます。

### 審査員認定の取消

- 認定取消の根拠となるような情報または客観的証拠が明らかになった場合、IRCA は初期登録時の手順も含め当該案件を調査します。
- 認定取消の決定が下された後の措置は、下記に従います。

強制取消は、認定取消の決定後 12 カ月以上の期間に渡り行われますが、具体的な期間については IRCA の裁量に基づくものとします。

任意取消は IRCA の同意を得た後に行われるものとします。ただし、強制取消の回避または強制取消期間の短縮のために、任意取消は使用することは禁じます。使用された場合、任意期間に強制期間が加算されるものとします。

**注意：** この場合、IRCA は取消期間に関して当該国の CBMC に判断を仰ぐことができません。

強制取消期間は、決定の根拠となった証拠の重要度に基づき、永久取消となる場合があります。

**9104** シリーズおよび関連する要求事項への違反に関わる取消の場合、適切な審査の実施を示す客観的証拠を得るため、および要求事項遵守を確認するための修正手順および修正措置を、措置決定前に実施する必要があります。

低い審査能力またはオンサイトの審査活動に関するその他の活動に関わる取消の場合、修正手順および修正措置は、オンサイトで評価者による立会いの下行われるものとします。評価者は、認定および取消のいずれの決定に関わっていない、OP 評価者、AB 評価者、または同等の能力を有する IRCA の一員が務めるものとします。

期間の根拠となる理由は開示されません。ただし、申し立てを行うことは可能です。

以下に当てはまる場合、永久取消となることが考えられます。

審査文書、審査報告書、審査結果、審査決定の捏造。

IAOG の信用失墜につながりかねない、審査中の行動。

審査プロセスに無関係の OEM または NAA の措置が必要となるような航空安全上の問題につながる行動、または行動の欠如。

### 3. 申請方法

#### 申請者が行うこと

##### ■ 申請書類の請求

申請書類は無料で配布しています。IRCA ウェブサイトより書類一式をダウンロードしてください。又は以下の連絡先宛に書類を請求してください。

電話： +44 (0)20 7245 6833

ファックス： +44 (0)20 7245 6755

Email : [irca@irca.org](mailto:irca@irca.org).

ウェブサイト : [www.irca.org](http://www.irca.org)

##### ■ 申請用紙及び書類を記入し提出してください

登録申請の際は、指示に従って申請書を記入し、必要な追加資料をすべて同封し、申請費の振込通知フォーム (IRCA/275) を添えて IRCA に送付してください。

申請段階では、申請費のみをお支払いください。年間登録費はお支払いにならないでください。申請に通過した時点で、IRCA から書面を送付し、年間登録費の請求をいたします。

本申請を裏付けるための通信は、英語あるいは原本の正式な翻訳を伴ったものでなければなりません。特に学業資格、トレーニングコース、審査についてはご注意ください。

提出した資格に関するものについてはすべて、文書による証拠がなければなりません。認められる証拠の一例としては、授与機関、授与資格、授与日、誰に対して授与されたかが明記されている資格証明書原本をきれいにコピーしたものです。このような情報が記載されていなかったり不明確である場合は、申請者は追加の証拠を提出しなければなりません。

例えば、紛失したり、捨ててしまったといったような場合など、資格証明書のコピーがない場合にも同様のことがいえます。認められる証拠としては、授与を証明する授与機関からの正式な書状原本があります。

成績証明書の写し (コース内容の正式かつ詳細なレポート) も、授与日及び授与資格が明記されていれば、認められる証拠となります。

文書による証拠が授与機関より入手できない場合、その資格を認めることは通常ありません。

プログラムのパート II では、他の審査登録団体への申請が拒否されたことがあるかどうかを申告する必要があります。

#### IRCA が行うこと

申請手続を進めるには通常約 4 週間を要します。しかしながら、手続に要する時間は、申請に提出された情報の検証にどれだけ時間を要するかということに大きく依存します。IRCA が必要とする情報をすべて提出していただければ、申請手続が早くなります。

手続は 4 つのパートから構成されます：

##### ■ 事務的確認

最初に IRCA 事務員によって、提出されるべきすべての情報が申請者により洩れなく提出されていることの確認がなされます。

##### ■ 技術専門的評価

この部分に関しては、IRCA QMS 航空宇宙技術専門家、すなわち、評価員 (Reviewing Officer) が実施いたします。評価員は、提出された情報を登録要求事項に照らし評価し、この情報の一部、又はすべてを検証いたします。技術的評価の結果、評価員は登録マネージャーに登録の推薦を行います。

IRCA は、検証を、登録プロセス全体を裏付ける不可欠な要素であると考えております。したがって、登録要求事項の全側面に照らして申請書類のレビュー、検証を行うことに、IRCA 評価員は細心の注意を払っております。IRCA は出来る限り迅速に評価手続を進めてまいります。IRCA (及び申請者) が期待するように迅速に手続を進められないこともあります。一般的でない学業資格や、元/現雇用者が検証に関わる情報を提出するのに時間がかかったり、被審査者が協力的でなかったりすると、申請手続により時間がかかる可能性もあります。

### ■ 登録および認定

申請者の登録に関する最終判断は登録マネージャーにより行われます。登録および認定決定は、技術的評価プロセスとは独立して実施されます (上記参照)。

### ■ 登録授与

登録マネージャーより、該当のレベルへの登録および認定を授与するという正式な書状が申請者に送付されます。この書状を送付する時点で、初回年間登録費の請求がなされます。

登録および認定は、年間登録費の支払いにより完了します。

申請者の情報は、登録審査員登録簿に追加され、IRCA から申請者に登録カードが送付されます。認定の場合、詳細が OASIS データベースに追加されます。

すべての決定は、どこにも依存せず、認定手順に不公平となるような利害対立の可能性のある申請者との (個人的、契約上、任意、正式な) 関係をもたない人物によって行われます。そのような対立がある場合、結果と共に IRCA に記録されます。

### 4. 料金

料金は年毎に設定され、暦通りの1年（1月1日～12月31日）で適用されます。現在の料金の詳細は、IRCA ウェブサイトをご参照ください。

#### ■ 申請費

申請書類を送付する際、申請費の送付をお願いいたします。申請費のお支払いがない間は、申請手続を進めることはできません。

申請費は申請手続に関わる費用に対するものであり、申請が却下された場合も払戻しはありません。

#### ■ 初回登録費および認定費

この費用は、初年度の登録および認定に関わる事務費用に対するものです。登録が授与される前にお支払いいただく必要があります。

#### ■ 年間登録費および認定費

年間登録費および認定費は登録審査員の登録に関わる事務費用に対するものです。お支払い期限の1ヶ月前に請求書が送付されます。

#### ■ 昇格申請費

昇格申請費は、申請者の昇格の評価に対する費用です。昇格申請を提出する際にお支払いください。初回申請費と同様、昇格申請費は払戻しはありません。

登録期間中に昇格した場合は、その登録年度については追加の年間登録費はいただきません。

登録期間中はいつでも昇格申請することができます。

申請者が、（3年毎の）登録更新プロセスの一環として昇格した場合、昇格料は発生いたしません。

## 5. 登録更新および認定更新要求事項

審査員は、3年毎（つまり3年目の登録年度）に登録を更新しなければなりません。IRCAは登録最終年度の6ヶ月前に、更新申請費お支払いのための書類、審査ログ、CPDログ、並びにその他の文書の提出を書面にて通知します。IRCAは提出いただいた更新書類を以下に挙げた更新要求事項に照らして評価し、登録の決定を行い、結果を書面にて通知いたします。

上述の事項に加え、**ASCS（パートII）**審査員は全員、登録期限の3カ月前に更新用の書類を提出しなければなりません。これは**AS 9104/3**規格の**8.1.2**項に記述があります。この期間内に更新申請を提出しないと、このプログラムへの再申請が必要になります。IRCAは登録日の6カ月前に審査員に通知いたします。

登録更新プロセスには以下の5つの要求事項があります。

- 継続的専門知識の啓発（CPD）
- IRCA フォーム 106 の審査ログに記録された審査経験
- 苦情の告知
- IRCA 行動規範の遵守
- 年間登録費のお支払い

### ■ 登録のための継続的専門知識の啓発（CPD）

航空宇宙内部監査員レベルを除くすべてのレベルについて、申請者は、登録更新に先立つ3年以内に実施した、45時間以上の適切なCPDを完了していなければなりません。少なくともこのうち15CPD時間は、特定の航空宇宙産業又はサービスの審査技能の啓発に直接関連し、航空宇宙規格や規制の最新情報維持に関するものでなければなりません。

この要求事項を満たしていることを示す証拠の提出が必要となります。

（手順は附属書Iを参照してください。）

#### 再認定のためのパート2のCPD

すべての認定審査員は、3年間の認定期間中に、以下の分野を1つ以上含む、継続的な教育活動に少なくとも15時間参加しなければなりません。

- 適用される航空宇宙産業規格の変更
- AQMS 審査方法論
- 航空当局の要求事項の変更
- IAOG/セクターの方針、基準、手順の更新/変更

**注意：ASCSのセクション、本プログラムのパートIIに登録されたすべての審査員は、国別またはセクター別の審査員会議に参加されることを推奨します。**

### ■ 審査（監査）経験（注1参照）

申請者は、IRCA配布の審査ログシート（IRCA/106）に審査経験を記録し、提出する必要があります。

航空宇宙内部監査員補レベル：

審査実施の要求事項はありません。

航空宇宙内部監査員レベル：

申請者は5件以上、合計15時間以上にわたる航空宇宙監査を実施していなければなりません。

航空宇宙審査員補レベル：

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

審査実施の要求事項はありません。

### 航空宇宙審査員レベル：

申請者は5件以上の認められる航空宇宙審査を実施していなければなりません。

### 航空宇宙主任審査員レベル：

申請者は5件以上の認められる航空宇宙審査を実施し、そのうち2件は2人以上の審査員で構成されたチームのリーダーとして実施したものでなければなりません。

### 航空宇宙プリンシパル審査員レベル：

申請者は5件以上の認められる航空宇宙審査を実施し、その5件すべてが主任審査あるいは単独審査でなければなりません。

申請者は登録更新に先立つ3年間の登録期間以内にすべての審査を実施していなければなりません。

### 認定航空宇宙審査員／航空宇宙経験審査員レベル：

3年間の認定期間内に、5件以上の適用可能なAQMSに対する認められる航空宇宙審査を実施していなければなりません。

認められる審査は、フルシステム審査または部分／サーベイランス審査です。但し、部分／サーベイランス審査は広範囲にわたる領域を網羅している及び／またはその審査で受審組織の品質マネジメントシステムの重要部分が網羅されたことを実証する証拠を提出しなければなりません。

## ■ 苦情の告知、拒否、認定取消、申請拒否

申請者に行われた、または申請者が行ったすべての苦情の申し立て、拒否、認定取消、または申請拒否についての申告が必要となります。これには、他のAABへの申請拒否および拒否、職務に関する苦情が含まれます。認定プロセスの一環として考慮しなければならないため、IRCAがすべての問題の情報を得ることが重要となります。申告を怠った場合、申請の不受理、または登録／認定の一時停止または取消につながることもあります。

## ■ 行動規範の遵守

申請者は、常に行動規範（附属書III参照）を遵守した上で行動してきたという宣言をする必要があります。

## ■ 年間登録費のお支払い

更新または再認定手続き完了後に、申請者は年間登録費を支払う必要があります（更新または再認定には追加費用はかかりません）。年間登録料は更新または再認定後にIRCAが通知するレベルにより異なりますので、更新または再認定手続きを完了するまでこの費用を支払う必要はありません。IRCAは書面にて更新結果を申請者に通知し、請求書及び登録カードを同封します。

注：航空宇宙内部監査員以外のレベルの申請者は、フル審査またはサーベイランス（部分システム）審査の記録を提出する場合、そのうち1件に設計要素が含まれていれば容認しますが、審査日数は少なくとも現地で20人日が必要となります。

## 6. BS (EN) ISO 9001:2008 へのアップグレード

ISO 9001:2008改訂版では、いくつかの軽微な変更と明確化が図られました。IRCAはアップグレード申請者に、その変更を理解し、また審査中にそれを実施することができることを実証することを要求します。

### IRCA登録QMS審査員を対象とするアップグレード要求事項

申請者は、ISO 9001:2008に対する認められる審査を実施する前に、ISO 9001:2008の変更に関心をあてた少なくとも2時間のCPDを修了する必要があります。IRCAはこのCPDと、申請者が実施した審査を、通常の登録更新の際、又は昇格を申請する場合はその際にレビューします。このCPDは、新たな規格に照らして審査を実施するよりも先に修了しなければなりません。審査ログには、実施した審査ごとに、規格の版（2000年版か2008年版）を明記してください。IRCA633（IRCAウェブサイト[www.irca.org](http://www.irca.org)でダウンロードできます）を参照してください。

### 新プログラムの開始

IRCAは、2008年11月以降に実施されたアップグレードCPDとISO 9001:2008に照らした審査を認めます。

### IRCAが認めるCPDの種類

アップグレードCPDに関し、IRCAはフレキシブルであり、特定のアップグレードコースの修了は要求しません。

通常のCPDに対するアプローチと同様で、変更精通し、変更の意図を理解するためにアップグレード申請者が実施する可能性のある活動の種類は多岐にわたるでしょう：

- OJT
- 社内トレーニングやセミナー
- 関連する会議、セミナー、ワークショップへの参加
- 読書（例：IRCAウェブサイトからダウンロードできるIRCA/633概要説明文書やその他の関連する記事）
- 特定のQMS審査員アップグレードコース

IRCAは、アップグレードに認められるISO 9001:2008のイベントやセミナーのリストを提供します。このリストはすべてのイベントやセミナーを網羅したものではありませんので、その他のCPDであっても認めます。こういったイベントは、IRCA認定の研修機関やOEAが提供するものですが、正式なIRCA認定の対象ではありません。推奨するアップグレードトレーニング/イベントの内容は、IRCA632をご覧ください。受講可能になった時点で、コース及びイベントのリストを[www.irca.org](http://www.irca.org)に掲載します。

### ISO 9001:2000審査実績の受付終了

すぐには終了しません。IRCAは、ISO 9001:2000に照らした審査活動がしばらく続くと考えていますので、ISO 9001:2000に照らした審査も継続して受付けます。但し、2011年11月1日までに、審査員はCPDの提出を通じて9001:2008の力量を実証しなければなりません。

### 7. 昇格方法

申請者は時期に関わらず昇格申請することができます。IRCA が新規申請登録を受入れた際、次のレベルに登録するために修得する必要がある審査経験及び力量を示します。昇格申請するには、申請者は IRCA/106 ログシートを記入し、必要なすべての追加情報を同封し、昇格申請費の振込通知フォームを添えて IRCA 宛送付ください。

昇格申請が認められても、通常は申請者の登録更新日が変更になることはありません。

初回登録期間内に登録更新プロセスの一環として昇格申請をしないのであれば、IRCA は登録期間の終了の 2 ヶ月前に書面を送付し、審査ログ及び CPD ログを提出するよう促し、この時点で IRCA は、申請者に現在の昇格要求事項を通知いたします。申請者が、(3 年毎の) 登録更新プロセスの一環として昇格した場合、昇格料は発生いたしません。

昇格方法について更に情報が必要な場合には、IRCA にご連絡ください。

## 8. その他の情報

### ■ 登録期間

申請が認められた場合、この登録は3年間保持されます。この3年間を登録期間と称します。登録期間の終わりに登録を更新する必要があります。更新が認められた場合、更に3年間の「登録期間」を与えます。この繰返しとなります。

登録期間中の1年目、2年目の終わりには、年間登録費をお支払いいただき、行動規範を遵守することにより、登録を維持することができます。1年目、2年目の終わりにあたり、その他の書類を提出する必要はありません。3年目の終わりに、全登録審査員は登録更新プロセスを進める必要があります。

### ■ ISO 9001 : 2008 以外の QMS 規格

パート1への登録については、IRCAは、IRCAがISO9001:2008と同等と認めたその他の規格に照らして実施した審査を認めます。IRCAは受容可能なその他の規格リストを維持していますが、申請者はこのリストに掲載されていない規格に照らして実施した審査の承認を要求することもできます。IRCAには新しい規格を評価するための手順がありますので、規格が認められると思われる申請者は、IRCAにご連絡ください。

航空宇宙産業の審査は通常、AS/EN/JISQ 9100/9110/9120又は、同等の国内規格に照らして実施されます。この規格が認知されていなかったり、適用されていない地域においては、その他の同等規格を認めることもあります。

注意：ASCS分野への申請のために審査経験を提出する場合は、AS/EN/JISQ 9100シリーズの規格に照らした審査でなければなりません。

### ■ 登録カード、登録及び登録名簿

新規申請登録後、登録カードを送付いたします。また、申請者が年間登録費を支払い、その他の適用される要求事項を遵守していれば、その後も毎年登録カードを送付いたします。

このカードは、登録の主たる証拠となるものであり、審査の開始時にはこれを提示し、その後も適切な場合は提示してください。

カードは登録者に対して発行されるものですが、所有権はIRCAにあり、要請があれば返却しなければなりません。

IRCAの登録証は、特定のレベルに登録されたことを示す正式な証明書です。但し、これを登録の証拠として使用すべきではありません。登録証の購入を希望される場合はご連絡ください。

登録された全世界の審査員の詳細が、IRCAウェブサイトでご覧になれます（「審査員の検索」）。

### ■ 抗議及び苦情

申請者は、IRCAの下した登録に関する決定に対し抗議する権利をもっています。IRCAはこのような抗議及び苦情について検討するための規定の手順を含む品質システムを運用しています。

ASCS固有の認定決定が講義を受けた場合、その苦情に対する判断はOPMTにゆだねられます。

### ■ 登録に関する処置

登録者が登録基準を継続して満たさない場合、IRCAが登録者の登録を停止する権限を有しています。多くの場合、登録抹消を行う前に代替レベルがオファーされます。代替レベルでの登録期間中に、要求事項を満たす機会が与えられ、元来登録されていたレベルに復帰することができます。

同様に IRCA は、行動規範に違反した登録審査員に対して、登録に対する何らかの処分を施行する権利を有しています。この際の処置には、登録の一時停止、また違反の内容が深刻なものや、継続的なものである場合には登録が抹消される場合があります。.

### ■ 機密保持

登録活動を裏付けるために申請者が提出したすべての情報、通信内容並びに書類は、すべて厳重な機密情報として取扱われます。

IRCA は、[www.irca.org](http://www.irca.org) で公開する登録名簿に各登録審査員の関連情報を掲載する権利を有します。

### ■ 法的位置づけ

IRCA の審査員登録、及び、登録に関するすべての手続は、英国法に準じて管理され、専ら英国法廷の管轄のもとに置かれています。

## 附属書 I : 継続的専門知識の啓発 (CPD) に関する指針

CPD は、あなたの専門知識、個人技量並びに力量を継続的に更新することを促す枠組みです。CPD の目的は、審査員として、その有効性を更に高め、審査職務を更に信頼性の置けるものにする事です。CPD の概念、及び CPD が寄与する価値は、今日すべての職業分野において認知され、受け入れられています。

登録更新プロセスの一環として、過去 3 年内における 45 時間以上の CPD を修了したことを実証していただく必要があります。この CPD は広義において審査及び QMS に関連するものです。少なくともこのうち 15CPD 時間は、特定の航空宇宙産業又はサービスの審査技能の啓発に直接関連し、航空宇宙規格や規制の最新情報維持に関するものでなければなりません。IRCA はこれを、特に IRCA の定期マガジン I R C A インフォを通じるなど、あなたとのコミュニケーションをとおしてサポートします。IRCA インフォには、審査実施についての記事やガイダンス、そして審査員の啓発に関する内容が掲載されています。IRCA インフォは [www.irca.org](http://www.irca.org) より無料で購読できます。

あなたの審査力量を向上させるものであると IRCA が認識するトピックは、その数は非常に多々です。これについてここで挙げることはいたしません。しかしながら、IRCA は、これらを航空宇宙審査員に要求される力量の 2 つの主要領域と整合性をもつ 2 つの領域に分類しています：

1. 品質/航空宇宙関連
2. 審査関連

同一の方式が万人に対してふさわしいものであるとは考えておりません。したがって、非常に非公式なもの（例：読書及び独学）から公式なもの（例：教室を構えたトレーニング）まで、幅をもたせた方法で取得した CPD を認めます。CPD の取得方法には効果的なものもそうでないものもあると考えます。したがって IRCA は、ある活動についてはその他の活動よりも効果があると認める「ウェイトティング」方式を採用します。活動は大きく 3 つのカテゴリーに分類されます：

a) 非体系的；3 時間＝1CPD 時間

このカテゴリーに含まれるものには、評価されずかつ資格取得につながらない通信型・公開型の学習、専門誌及び技術誌、書籍、その他出版物の読書、特定の結果をもたらすように予め計画され特定されている OJT のその関連部分があります。

b) 半体系的；2 時間＝1CPD 時間

このカテゴリーに含まれるものには、非相互作用の（一方的な）講義、講話等、社交的な非公式の専門機関の会合（例：ネットワークの機会）、研究、講義/コースの準備・初回実施、記事の出版、新しい資格（評価されるもの）の取得を狙いとする公開型・通信型の学習があります。

c) 体系的；1 時間＝1CPD 時間

このカテゴリーの例には、相互作用的で参加度の非常に高い訓練コースやセミナー、正式な講義のある専門機関の会合、規格の開発における積極的な参加などがあります。

各カテゴリーに含まれる活動は広範囲に渡るため、上記に挙げた例は、おおよその例として捉えてください。多くの審査員が 3 カテゴリーすべてを含む活動の証拠を提出しますが、これは要求事項ではありません [3 つのカテゴリーすべての CPD を提出しなければならないということではありません]。唯一の制限は、非体系的 CPD は認められる CPD 時間合計の 3 分の 1 (=15 時間) を超えてはならないということです。

提出する活動について十分かつ適切な証拠を提出する責任があります。したがって、あなたは活動の記録を作成・維持し、可能な場合は、これらを正しい手順で検証してもらう必要があります。この目的のために、CPD 及びトレーニングログシート (IRCA/173) を用意しております。

## 航空宇宙審査員登録要求事項

---

CPD に関わる情報を、いかに明確で、論理的で、理解しやすいフォーマットで提出するかは、申請者の利につながります。IRCA の登録更新手順の速さはこれに依存するといえます。

## 附属書 II : 用語の定義

### 審査

審査基準が満たされている程度を判定するために、審査証拠を収集し、それを客観的に評価するための、体系的で、独立し、文書化されたプロセス。

### 被審査者

審査される組織。

### 審査依頼者

審査を要請する組織又は人。

### 審査チーム

審査を行う 2 人以上の審査員。 そのうち 1 名は主任として指名された者。

### 主任審査

審査員が、他の最低 1 名を含むチームリーダーを務める審査。

### 単独審査

1 名の審査員が審査のすべての側面を実施する審査。

### 第一者監査

組織独自の監査のための経営資源によって、組織内で実施される監査。 内部監査ともいう。

### フルシステム審査

91043 の表 1、表 2、および 9104 の第 7 項で定義された「フル」審査とは、以下のように定義される。

立会い審査の経験および証拠として使用される審査および関連の審査記録は、規格のすべての条項およびサブ条項を含み、またこれらに照らした効果的な審査が行われたことを実証しなければならない。

条項およびサブ条項が審査の適用範囲外であると審査記録に示されており、それが容認できる除外である場合（ISO 9001 の第 7 項または AQMS）、その他の審査記録および立会い評価記録は認証規格の全ての条項およびサブ条項の全詳細についての直接評価の経験を実証するものでなければならない。

**OASIS 認定の場合**、4 件のフル審査の要求事項を満たすには、4 件中 2 件は 7.3 項（設計）が除外されていてもよい。

### 第二者監査

購買者である組織、又はその代行者が、契約業者又は供給者に対して実施する監査。これ

には、同グループ内の他の組織に商品やサービスを供給している企業又は部署の監査も含まれる。 供給者監査ともいう。

### 第三者審査

審査を受ける組織から独立した機関、すなわち、認証機関又は審査登録機関によって実施される組織の審査。

### CBMC

ADS 内の登録機関運営管理委員会  
(Certification Body Management Committee)

### ADS

UKOP において UKOP を運営するイギリスの航空宇宙貿易機関

その他の団体

### AB

認定機関

### OPMT

その他の団体のマネジメントチーム

## 附属書 III 行動規範

登録審査員は全員、以下の行動規範に合意し、これを遵守しなければなりません：

1. 審査員は、雇用契約を交わしている組織や正式に従事している組織（審査組織）に対し、またその直接管理下で実施している審査の被審査組織に対し、信頼性のある公平な態度で行動すること。
2. その組織に関する審査機能を実施する前に、審査を受ける組織と何らかの関係をもつ場合には、それを自分の雇用者に明らかにすること。
3. 審査を受ける組織から、その責任者から、又は他の利害関係をもつ人間からは、いかなる誘因や贈答品、手数料、割引、その他の利害となるものを受入れてはならない。また故意に責任のある者にそうさせてはならない。
4. 被審査者と審査組織の両者の書面による承認がない限り、自分が責任をもつ審査チーム、又は自分がその一員である審査チームの調査結果を一部たりとも公表してはならない。又は審査中に入手した情報を第三者に公表してはならない。
5. 審査組織の評判や利害関係に不利となるような行動をとらない。
6. IRCA の評判や利害関係、信用に不利となる行動をとらない。
7. この行動規範への違反があった場合には、正式な照会手順に協力すること。
8. IRCA は、申請または表明に虚偽の情報／曖昧さがある場合、適切な調査を実施する権利を有する。